

平成25年住宅・土地統計調査の概要

調査の概要

- 調査の目的：住宅、土地の保有状況及び世帯の居住状況等の実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにする。
- 調査の周期：昭和23年以来5年ごとに実施しており、平成25年調査は、14回目に当たる。
- 調査日：平成25年10月1日 午前零時現在
- 調査の対象：約350万住戸・世帯（空き家等も含む。）
- 調査事項：住宅等に関する事項（居住室数及び広さ、所有関係、敷地面積、構造、建て方等）、世帯に関する事項（世帯の構成（世帯人員数、性別、年齢等）、年間収入、通勤時間、入居時期等）、東日本大震災に関する事項、住環境に関する事項（安全性、快適性等）、現住居以外の住宅及び土地に関する事項 等
- 事務の流れ：



- 利活用状況：
 - ・国及び地方公共団体が住生活基本法に基づき作成する住生活基本計画の住宅関連諸施策の策定及びその評価
 - ・国土交通白書や経済財政白書等における分析・評価
 - ・国民経済計算の推計
 - ・大学その他の研究機関等における都市・住宅・防災等の研究



平成25年調査のポイント

- 東日本大震災による住宅移動・住宅工事等の実態を把握
- 耐震性・省エネルギー性、バリアフリーなどの住宅性能の把握
- 調査方法として、インターネット調査を全国に展開予定